

地域問題研究交流集会

—「地域包括ケア」と担い手の形成—

～地域福祉の視点から考える～

2014年、介護保険制度の根幹にかかわる「改正」が行われ、「地域包括ケアシステム」の構築をめぐる、全国の市町村では様々な取り組みが展開されています。

そのキーワードは「自助・互助」であるとされています。「公助・共助」が“不確実”な中、「自助・互助」の「みなもと」としての地域住民による「支え合い社会」「地域共生社会」の実現が謳われています。

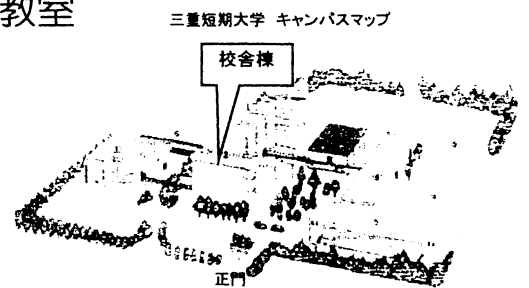
こうした中、今回のセミナーでは、担い手としての「地域住民」「福祉事業所」の役割、市町等行政の責任等について、かかわりのあるそれぞれの立場から課題を考えます。

1. とき 2016年10月30日(日) 10:00～15:30

2. ところ 三重短期大学 校舎棟3階 35番教室
(津市一身田中野157)

3. 内容

(1) 午前の部 (10:00～12:00)



基調講演 『地域福祉の視点から地域包括ケアを考える』

講師 後藤真一郎 さん (厚生労働省社会・援護局地域福祉課地域福祉専門官)

(2) 午後の部 (13:00～15:30)

シンポジウム 『「地域包括ケア」と担い手の形成』

シンポジスト

山口尚利さん (津市健康福祉部高齢福祉課長)

日高利恵さん (津久居地域包括支援センター長)

谷口里美さん (津市社会福祉協議会地域福祉課)

倉田 理さん (津市生活支援コーディネーター)

コーディネーター

中道和久さん (三重県福祉セミナー実行委員会)

・一般社団法人小規模ケア研究会代表理事)